

JR四国労組 青年女性会議ニュース

プラスアルファ

STEP by STEP ～共に乗り越え明るい未来へ～

2025年2月19日発行 No. 418

四国旅客鉄道労働組合 青年女性会議 <http://jrslu.jrsis.com/>
〒760-0021 高松市西の丸町11-9
TEL (NTT) 087-851-1378 (JR) 086-2597・2598
発行責任者/藤岡 祐自 編集責任者/三木 和仁

今回の作成担当



常任委員 角南厚志郎
徳島駅

JR四国労組
LINE公式アカウント



友達募集中

JR 四国労組

四国電力総連



初開催!

組織間交流会

四国のインフラを支える組織同士の交流会

2025年1月25日(土)ユニティーホール四国にて、四国電力総連とJR四国労組の青女役員を対象とした交流会を開催しました。四国電力総連青年委員より16名、JR四国労組本部青年女性会議より15名の本部青女役員が参加しました。両組織の青女担当者の連携により実現したこの交流会は、“四国のインフラを支える”という同じ目標を掲げる組織間の交流を深め、“産業を超えた繋がりを作る”という目的で開催されました。

電力関連産業という大きな枠組みの中にも様々な職種や役割があり初めて知ることが多くありました。他の産業・組織と交流することで青年女性会議ならではの、斬新かつ有意義な活動を行うことができました。



四国電力総連とは

四国の電力関連産業で働く組合員で構成されている組織で、18組合（約9,300名）で活動しており、上部団体は“電力総連”あり、私たち“JR連合”の上部団体と同じ”連合“に加盟している組織です。

交流会の内容

はじめに各組織の代表者として、四国電力総連・末廣副会長、JR四国労組・中村書記長からご挨拶をいただき、四国電力総連本部青年委員会・山本主査、JR四国労組本部青年女性会議・藤岡議長より各組織の組織体系や具体的な活動内容についての説明を行いました。組織によって学習会やレクレーションの内容に特徴があり、今後のリーダーの育成や組合員の相互の親睦と関係を深める観点からも大変勉強になりました。また、藤岡議長から「四国の新幹線早期実現」にむけた署名活動の協力を要請し、両組織ともに四国の経済、文化を発展させるために想いを一つにしました。

その後グループに分かれてアイスブレイクとレクレーションを行いながら、お互いの活動について意見交換を行い参加者同士で交流を深めました。今回の交流会は初の試みということもあり序盤は緊張感がありましたが、開催の目的であった産業を超えた繋がりを作り出すことができました。

今後の活動に向けて

交流会でのレクレーションで、四国電力総連の発案により“ito”というカードゲームを行いました。数字をイメージで表現しながら意思疎通を図るゲームで、初めてプレイする参加者も多く、大いに盛り上がりました。今後の活動で活用していきたいと思います。このゲーム以外にグループ活動などで盛り上がるゲームなど知っている方は是非、青女役員に教えてください！皆さんの意見やアイデアを取り入れながら今後も楽しいレクやイベントを、本部青年女性会議が一丸となり企画していきたいと思います。

